

教育民生委員会記録

開会年月日	令和4年11月22日		
開会時刻	午前9時57分		
閉会時刻	午前11時7分		
出席委員名	◎吉岡勝裕	○宮崎 誠	久保 真 中村 功
	楠木宏彦	辻 孝記	藤原清史 浜口和久
	世古 明 議長		
欠席委員名	なし		
署名者	久保 真 中村 功		
担当書記	野村格也		
審査案件	継続調査案件	所管事業の令和4年度進捗状況及び予算の執行状況等の調査について	
	継続調査案件	伊勢市病院事業に関する事項 ・令和4年度経営状況について	
	継続調査案件	伊勢市立小中学校の規模・配置の適正化に関する事項 ・小中学校適正規模化・適正配置推進事業(進捗状況)について	
	継続調査案件	保健福祉拠点施設の整備に関する事項、子ども子育て支援に関する事項 ・保健福祉拠点施設の整備及び同施設における子ども子育て支援について	
	継続調査案件	新型コロナウイルス感染症対策に関する事項 ・新型コロナワクチンの接種状況について	
説明員	情報戦略局長、情報戦略局次長、財政課長		
	健康福祉部長、健康福祉部理事、健康福祉部次長、		
	健康福祉部参事、保育課長、健康課長、健康課副参事		
	環境生活部長、環境生活部参事、環境課長		
	教育長、事務部長、学校教育部長、教育委員会事務局参事、		
	教育研究所長、スポーツ課長、学校統合推進室長、学校教育課長、		
	学校教育課副参事		
	病院事業管理者、病院経営推進部長、経営企画課長、 経営企画課副参事、医療事務課長		
ほか関係参与			

審査経過

吉岡委員長が開会を宣告し、会議成立宣言の後、会議録署名者に久保委員、中村委員を指名した。その後、直ちに議事に入り、継続調査案件となっている「所管事業の令和4年度進捗状況及び予算の執行状況等の調査について」、「伊勢市病院事業に関する事項」、「伊勢市立小中学校の規模・配置の適正化に関する事項」、「保健福祉拠点施設の整備に関する事項」、「子ども子育て支援に関する事項」及び「新型コロナウイルス感染症対策に関する事項」を順次議題とし、当局から報告、報告への質疑を行い、「所管事業の令和4年度進捗状況及び予算の執行状況等の調査について」は調査を終了とし、その他については今後も継続して調査をすることを決定し、委員会を閉会した。

なお、詳細は以下のとおり。

開会 午前9時57分

◎吉岡勝裕委員長

ただいまから、教育民生委員会を開会いたします。

本日の出席者は全員でありますので、会議は成立いたしております。

これより会議に入ります。

会議録署名者2名は、委員長において、久保委員、中村委員の御両名を指名いたします。

本日御審査願います案件は、お手元に配付の案件一覧のとおりであります。

議事の進め方につきましては、委員長に御一任願いたいと思っておりますが、御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

◎吉岡勝裕委員長

御異議なしと認めます。そのように取り計らいをさせていただきます。

【所管事業の令和4年度進捗状況及び予算の執行状況等の調査について】

◎吉岡勝裕委員長

それでは、「所管事業の令和4年度進捗状況及び予算の執行状況等の調査について」の御審査を願います。

当局から説明をお願いいたします。

財政課長。

●太田財政課長

それでは、「所管事業の令和4年度進捗状況及び予算の執行状況等の調査について」、御説明申し上げます。

資料1を御覧ください。このたび御説明申し上げます予算の執行状況等は、各常任委員会から御指示がありました17事業について作成したものでございます。教育民生委員会所管分の執行状況については、7ページから12ページに掲載の6事業が該当いたします。

それでは、1ページをお開きください。まず、様式について御説明をいたします。上段

に事業目的を記載しております。事業内容の欄には、当初予算編成時に想定した内容・計画等を、進捗状況の欄には、特に断りがないものについては本年11月1日時点における予算執行上の現状を、事業を取り巻く状況等の欄には、事業執行に伴い生じた課題・問題点、今後の展望など現状分析を行っております。また、下段の事業費欄に、現計予算額等を記してございますが、執行済額は9月末時点での支出負担行為済額を記載しております。

それでは、各事業の概略について御説明をいたします。7ページをお願いいたします。保健福祉拠点施設整備事業です。本事業は、妊娠出産期から高齢期まで、切れ目のない相談支援及び子育て支援の充実を図るため、これらの機能を併せ持った拠点を整備し、地域共生社会の実現を目指すものです。執行状況としましては、設計業務が7月に完了、その後9月定例会で議決をいただき、内装工事に着手をいたしております。また、子育て支援センターの交流費用については、公募型プロポーザルを実施し、事業の進捗を図っております。今後も、複合化する生活課題をワンストップで受け止め、早期の相談、支援につなげ、市民が安心して利用できる体制を整えてまいります。

次に、8ページをお願いします。犬猫不妊去勢手術推進事業です。本事業は、犬猫の不妊去勢手術を推進し、飼い主のいない猫の増加、捨て犬・捨て猫を防止し、犬猫と共生できる社会の構築を目指すものです。執行状況としましては、地元自治会と協力し、TNR活動を6回実施したほか、犬猫不妊手術費等補助金について、犬猫合わせて346匹分を執行しております。また、12月末までを期限としたクラウドファンディングにも取り組んでいます。TNR活動を進めるに当たっては、猫の捕獲、輸送、捕獲した猫の世話など課題が多く、地域住民、ボランティア、保健所、市の連携した取組と活動内容を御理解いただけるよう啓発に努めてまいります。

次に、9ページをお願いします。がん検診事業です。本事業は、がんを早期発見し、早期治療につなげ、がんによる死亡率の減少を図ろうとするものでございます。執行状況としましては、市内の医療機関などで検診を開始しております。また、本年度から新たに開始した若年者のがん患者に対する在宅支援サービス費の助成については、ホームページや広報等で制度周知を図ったほか、三重県がん相談支援センターや市内の病院との連携を図っております。新型コロナウイルス感染症の影響により受診率が低下しておりますが、定期的な受診につながるようさらなる啓発に努めてまいります。

次に、10ページをお願いいたします。部活動指導員配置事業です。本事業は、中学校における部活動支援体制の充実及び教員の負担軽減・支援を行い、部活動の質的な向上を図るものです。執行状況としましては、運動部で4名、文化部で3名、計7名を配置し、部活動の指導に当たっています。部活動指導員を配置した学校では、教員の時間外勤務の減少のほか、専門的な指導により生徒の技術の向上にもつながっております。

次に、11ページをお願いします。不登校対策子ども未来サポート総合推進事業です。本事業は、誰もが安心して生活できる学校づくりを進め、児童生徒の社会的自立を目指して、不登校児童生徒、保護者、学校を支援するものです。執行状況としましては、不登校の理解と対応のため、保護者向けのリーフレット「ハーモニーハート」の改定を行いました。現在、教育支援センターには、小学生9名、中学生9名が通級しており、社会的自立に向けた支援のほか、オンライン授業にも取り組んでおります。不登校児童生徒数については、伊勢市は、全国、三重県の平均を下回っているものの、今後も関係機関と連携を深め、個

に応じた支援の充実を図ってまいります。

次に、12ページをお願いします。インクルーシブスポーツ推進事業です。本事業は、障がいの有無にかかわらず、誰もが自分のスタイルでスポーツを楽しめるインクルーシブスポーツを推進するものです。執行状況としましては、伊勢市パラスポーツ協会と連携し、未就学児童を対象としたインクルーシブスポーツフェスタを開催しました。また、12月には、障がい者野球交流会の開催も予定しております。伊勢市では、ラオスのパラ陸上チームとの交流をきっかけに、共生社会実現に向けた取組を推進する共生社会ホストタウンに登録され、令和3年2月に東海3県で唯一、先導的共生社会ホストタウンの認定を受けております。

以上、教育民生委員会、「所管事業の令和4年度進捗状況及び予算の執行状況等について」概略を御説明申し上げました。よろしくようお願い申し上げます。

◎吉岡勝裕委員長

ただいまの説明に対しまして、御発言はありませんか。
楠木委員。

○楠木宏彦委員

幾つかありますけれども、まず犬猫不妊去勢手術推進事業のことについてなんですけれども、ちょっと地域の方から相談を受けたんですけれども、あるうちで非常に多くの猫を飼育している。いわゆる多頭飼育、そういったことにこの事業というのは対応しないのかな。そういったことについては、どのように何らかの解決をしていこうと考えているのか教えてほしいと思うんですけれども、地域の中で隣同士だとかそういったことだもんで、直接話し合うのが難しいということもあって、そこら辺では、行政は何らかの介入ができるのかどうかということも含めてお聞きしたいと思っております。

◎吉岡勝裕委員長

環境課長。

●山本環境課長

すみません、多頭飼い、いわゆる飼育崩壊などについての御質問かと思っております。実際猫自体は家の中にいたり、もう飼い切れなくなると外へ出てしまったりということで、事実上飼い主がいないのと同じような状況もありますので、保健所、あとボランティアさん、お近くの方とも調整しながら柔軟に対応しているところです。以上です。

◎吉岡勝裕委員長

楠木委員。

○楠木宏彦委員

ありがとうございます。そういうことで、近所の方にとって、例えば今のように外に出てしまって猫がいる場合、毎朝猫の汚物の処理をしないといけないとかそんなようなこと

もあったりするものですから、よろしくお願ひしたいと思ひます。

それで、次に教育委員会のほうなんですけど、不登校対策子ども未来サポート総合推進事業についてなんですけれども、ここの中身を見せていただきますと、不登校児童生徒支援体制の充実というふうになっております。不登校児童生徒の個に応じた支援ということで非常に力も入れていただいて、随分スタッフも入れていただいて、重要な仕事だと思ひますけれども、ただ、これが対症療法に終始しているんじゃないかというようなことを、全体を読ませていただいて感じるんです。つまり、不登校が発生する根本原因についての何らかの対策があるのかどうかということなんですけれども。

私、一般質問などでもこの問題を何度か取り上げさせてもらいましたけれども、その中で、校則の問題とか、あるいは生徒指導の在り方の問題とか、こういったことを問題にさせていただきましたけれども、いわゆる体罰については当然学校教育法できちっとされておいて、それについては教育委員会のほうもしっかりとやっていたらいいということなんですけれども、ただ、体罰まで至らないような高圧的な指導、最近そういう不登校の対策をされている方の中で、学校マルトリートメントという言い方をしてこの問題を考えようとしている方々がいらっしゃるんですけれども、「マル」というのは悪いという意味です。トリートメントは取扱いといいますか、だから、子供に対しての不適切な対応、こういったことを問題にしている方が最近増えてきているということを感じるんです。そこに問題があるんじゃないかということで、こういった概念が出てきているわけなんですけれども。

例えば私がまちを歩いていて、市内の、学校の近くですけれども、中学生がシャツをスカートの中に入れていなくて、暑いものですから出していた、そういうようなことを見とがめた先生が、非常に高圧的な感じでそれに対して注意をしていたとか、あるいは生徒指導の先生が、「もうちょっと締めやないかん」みたいな、こんなような言い方をしたりとか、恐らくこういったものは学校マルトリートメントに当たるんじゃないかなと思ひますけれども、こういったものが、今の中学校の教育文化の根っこのところにあるんじゃないか。もちろんそれが直接的に原因になってということにはならない、きっかけになったかどうか分からないですけれども、潜在的にずっとそういった学校のムード、それがあって、そのところについて、しっかりと対応する必要があるんじゃないかと。

この事業の事業目的のところ、まず、誰もが安心して生活できる居心地のよい学校づくりというふうに書いているわけで、この面について、不登校が発生しないような、そもそも不登校が発生しないようなそういう学校づくりについて、何らかの対策、対応、考えはありますでしょうか。

◎吉岡勝裕委員長
教育研究所長。

●上永教育研究所長

まず、居心地のいい学校、学級づくりということで、WEBQUというアンケートをいつも行っておるんですけれども、その結果によりまして、個別の対応、それから学級に何か問題がないかというふうなことで、そのデータを基に改善するべきところは改善してと

いうふうなところで、誰もが居心地のよい学級・学校づくりを進めております。

◎吉岡勝裕委員長

楠木委員。

○楠木宏彦委員

時々子供からも問題を聞いたりするんだけど、そんなときに、先生に言ったらどうかと言うんだけど、「そんなことを言ったら大変なことになるよ」みたいなことで、やっぱり先生とのコミュニケーションがうまく取れないような状況がつくられているんじゃないかと思えますものですから、そういった面で、特に子どもの権利条約なんかの精神に基づいて、しっかりと学校運営のほうをお願いしたいと思えます。

次に、インクルーシブスポーツ推進事業なんですけど、これ、インクルーシブスポーツフェスタが2回行われてきているんですけど、これについて、そのときの状況、そして成果みたいなことが何かありましたら教えてください。

◎吉岡勝裕委員長

スポーツ課長。

●東浦スポーツ課長

すみません、御説明いたします。インクルーシブスポーツフェスタでございますけれども、2回実施をさせていただいております。その中におきまして、まず参加者につきましては、特に2回目のインクルーシブスポーツは、最年少の方が1歳で、最高齢の方が81歳ということで、年齢の幅も広く参加をさせていただいております。また、障がいのある方、例えばダウン症の子供さんであったりとか、あるいは身体障がい者の方、そういった方も参加をさせていただいておるということで、まさに障がいの有無であったり年齢性別問わず、様々な方が参加をさせていただいているいいイベントになっているかと思えます。以上です。

◎吉岡勝裕委員長

楠木委員。

○楠木宏彦委員

ありがとうございます。こういったイベントに対して、一人一人の障がい者に対しての、こういったものがありますよといった、そういうお知らせするようなこと、そういったことは、特に何らかのことはやっただいていただいているんですか。

◎吉岡勝裕委員長

スポーツ課長。

●東浦スポーツ課長

周知のほうにつきましては、まずは広報いせのほうで周知を図らせていただいております。

すし、あとは市のホームページ、そういったところ、それと、いろんな方に、関係団体さんに関わっていただいたりもしておりますので、例えば伊勢市パラスポーツ協会さんであったり福祉の関係団体さん、これは高齢・障がい福祉課さんとも連携を取らせていただきながら、いろいろなところの関係者の方にも配らせていただいて広報をしておるところでございます。

◎吉岡勝裕委員長

楠木委員。

○楠木宏彦委員

ありがとうございます。以上です。ありがとうございました。

◎吉岡勝裕委員長

他に発言はありませんか。

辻委員。

○辻孝記委員

まず、7ページの保健福祉拠点施設整備事業について、少しだけ確認だけさせていただきたいと思います。進捗状況の中で、駅前の部分が10月24日に公募型プロポーザルを実施しましたということで、この辺、その内容をちょっと教えてもらえませんか。

◎吉岡勝裕委員長

保育課長。

●堀川保育課長

駅前保健福祉拠点施設の子育て支援センター交流ひろばの環境整備業務委託の内容ということです。10月24日にこちらの環境整備を行う業務について、公募型プロポーザルという形で業者のほうを募らせていただきまして、以前説明させていただきました図面の子育て支援センター交流ひろば、大きい子ゾーン、小さい子ゾーンというふうな記載があったと思うんですけども、そちらの場所の環境整備のほうを委託させていただきました。委託させていただいて、中に入れます備品等の整備のほうを実施している、そのようなところでございます。

◎吉岡勝裕委員長

辻委員。

○辻孝記委員

分かりました。ありがとうございます。これ、予算的なことも含めて、当初予算と今回プロポーザルをやられた提案の部分というのは、どのような差があったのか。もしなかったらいいんですが、あったら教えてもらえませんか。

◎吉岡勝裕委員長
保育課長。

●堀川保育課長

予算的なところですが、予算につきましては、保健福祉拠点整備事業の中で実施のほうをさせていただいております。

◎吉岡勝裕委員長
辻委員。

○辻孝記委員

すみません、額面をもしよかったら教えてもらえませんか。

◎吉岡勝裕委員長
保育課長。

●堀川保育課長

こちらのほう、金額のほうは、3,090万5,479円というふうになっております。

◎吉岡勝裕委員長
辻委員。

○辻孝記委員

分かりました。ありがとうございます。それならそれでいいんですが、当初計画していたことと違うのかどうかだけ確認したかったんですが、その辺は違いはないんですね。

◎吉岡勝裕委員長
健康福祉部次長。

●辻村健康福祉部次長

この子育て交流ひろばでございますけれども、6階の子育て支援センターの整備の中で検討してまいりまして、様々なことを、先進事例も見ましてこのような形で整備をさせていただいております。以上でございます。

◎吉岡勝裕委員長
辻委員。

○辻孝記委員

それと、この事業を取り巻く状況等の中で課題が様々見えてきているのはあるかなとい

うふうにも思うんですが、これからやっていく中で、来年度からこども家庭庁というのも国のほうではできてくるというのがあるかと思います。その辺、これから子ども子育ての関係もこれからずっと一連のつながりを持っていくという国の方針もあろうかというふうに思います。こういった位置づけとここの位置づけというのは、どのように整合性を持っていこうとしているのか、ちょっと教えてもらえませんか。

◎吉岡勝裕委員長
健康福祉部次長。

●辻村健康福祉部次長

委員仰せのとおり、来年度、国におきましてはこども家庭庁の創設ということも既に報道もされております。我々としたしましては、そういった国の体制をいろいろとこちらでも情報を取りながら、5階から7階一体で、妊娠・出産期から子ども子育て、さらにはその中で発生いたします孤立や虐待であったり、そういったことをトータル的に支援できる体制を今後進めてまいりたいというふうに考えております。以上でございます。

◎吉岡勝裕委員長
辻委員。

○辻孝記委員

分かりました。よろしくお願ひします。要するに、これに入っていこうとしている各課があるかと思いますが、その中でも対応しきれない部分も多分あろうかというふうに思います。その辺を上手につなげていく体制とか駅前のほうへ持っていくような方向もつけながら取り組んでまいりたいなというふうに思いますので、よろしくお願ひします。

続きまして、犬猫の不妊去勢の関係ですが、これ、途中でクラウドファンディングの話が出てきまして、今現状はどうなっているのか、まず教えていただけませんか。

◎吉岡勝裕委員長
環境課長。

●山本環境課長

クラウドファンディングにつきましては、昨日の時点ですけれども、76件、71万2,000円の御寄附を頂いております。進捗は、目標に対して35.6%の進捗です。以上です。

◎吉岡勝裕委員長
辻委員。

○辻孝記委員

分かりました。ありがとうございます。目標ですから達成していただいて、オーバーするような感じで持っていつてもらえるとありがたいと思いますが、今回TNRの活動を6

回やったというふうなさつき説明があったと思います。これ、数的なことを言って申し訳ないんですが、これで何頭あって、成果的にはどのように考えてみえるのか教えてもらえませんか。

◎吉岡勝裕委員長
環境課長。

●山本環境課長

今年度から市のTNR事業のほうを開始させていただいているところですが、それまでも三重県のほうで実施されているTNR活動の協力という形で参加させていただいています。現在、市の実施分ということで、7匹ということで記載させていただいているところですが、現時点では、三重県のほうで19匹実施されているところですので、19匹と7匹ということで、今後も引き続き連携して取り組んでいきたいと思っています。以上です。

◎吉岡勝裕委員長
辻委員。

○辻孝記委員

分かりました。回数、当然動物ですから、捕まる、捕まらない、様々あろうかというふうに思いますが、やった実績として、これから、先ほど楠木委員からも話がありましたが、TNRだけじゃなくて、地域で困っているところも含めてですが、環境課のほうでしっかりと取り組んでいただきたいなというふうに思います。

以前、子供たちが議会を見るというので来ていただいたことがあったんですが、そのときの子供が、猫で困っているんですが、どこへ相談したらいいんですかというふうなことも聞かれました。そういったこともありますので、そういった対応をしやすい体制もつくっていただく、そのようなことを考えながらの予算編成であったりとか、執行をお願いしたいというふうに思います。今回も、まだ途中ですので、これから何回されるか分かりませんが、これからTNR活動、どれぐらいの回数を予定しておられるのか教えてもらえますか。

◎吉岡勝裕委員長
環境課長。

●山本環境課長

おおよそですが、大体年間60匹から80匹で推移しておりまして、実際に取り組む人の数にもよりますので、恐らくそれぐらいかと推測しております。以上です。

◎吉岡勝裕委員長
辻委員。

○辻孝記委員

分かりました。60匹ということで、県の事業も含めて60匹ということで理解していいですね。あと同じぐらいの回数があるというふうに考えますので、よろしく願いいたします。

次に、がん検診の事業のことなんですが、これ予算編成のときに、新しい部分も含めて、AYA世代に対しての、終末期だったときの自宅への帰る体制をつくるということで、現状はなかなか難しいのかなというふうにも思っていたんですが、この辺、取組の周知方法と、実際どうだったのかちょっと教えてもらえませんか。

◎吉岡勝裕委員長

健康課副参事。

●谷健康課副参事

若年者のがん患者在宅支援サービスについてお答えいたします。周知の方法としましては、5月のときに、県内のがんの相談窓口であります6つの大きな総合病院、伊勢地区医師会様や市内79の在宅のサービス事業所、がん相談支援センターへ電話と、あとはチラシのほうを配布のほうをさせていただきまして周知をしております。市民の方には、広報やホームページで周知をさせていただいております。今の状況としましては、病院さんのほうからは対象の方はいないということなんですけれども、この制度自体が県内伊勢市だけでしたので、すごくありがたい、もし対象の方が見えるようでしたら、すぐ連絡させてもらいますというふうなことは聞かせてもらっております。

◎吉岡勝裕委員長

辻委員。

○辻孝記委員

県内には、当然伊勢市が最初ということで、とてもすばらしいことだと思っております。これは、伊勢市民に対してということで理解しておっていいんですよ。

◎吉岡勝裕委員長

健康課副参事。

●谷健康課副参事

市民の方ということが対象になっております。

◎吉岡勝裕委員長

辻委員。

○辻孝記委員

分かりました。私、予算のときも聞かせてもらいました、大変な制度をつくっていただいたと私は思っております。がんで困って見える方、様々あるということで、私も一般質問させてもらいながら、ウィッグの補助であったりとか、そういうことも言わせてもらいましたが、その辺検討されるというお話が予算のときにありましたので、その辺はどうなっているのか、ちょっと教えてもらえませんか。

◎吉岡勝裕委員長

健康課副参事。

●谷健康課副参事

ウィッグとかほかの助成制度に対しましては、今検討中でございます。

◎吉岡勝裕委員長

辻委員。

○辻孝記委員

進捗がないということですね、分かりました。いろいろと私も相談を受けることがありましたので、その辺が、伊勢市にやる気があるのかどうかも含めて確認したかったものですから、前向きな取組をお願いしたいと思います。

次は、部活動の指導員の配置事業ですが、先ほど楠木委員からもお話がありましたけれども、進捗状況の中で、勤務実績が令和4年4月から8月分ということであります。部活動自体が限られている部分があるかと思いますが、他の部活動というのは、今後は、取組はあるんでしょうか。

◎吉岡勝裕委員長

学校教育課副参事。

●谷口学校教育課副参事

失礼します。ほかのクラブといいますか、学校に、まず希望するスポーツというか種類、それをまず下ろしまして、希望があったものと、実際の人材との兼ね合いで決定していきます。部活動指導員が入らない場合は、ほかの教育支援ボランティアとか無償ボランティア等で充当しております。以上でございます。

◎吉岡勝裕委員長

辻委員。

○辻孝記委員

そうすると、年度当初で決まっている部分でしかなくて、これも半分済んだわけですが、半分、後期の部分で新しく何とかしてほしいという学校は、別がないということで理解し

てよろしいでしょうか。

◎吉岡勝裕委員長

学校教育課副参事。

●谷口学校教育課副参事

もしその場合は、無償ボランティアということで大学生を利用したり、教育支援ボランティアの枠がありましたら、そちらのほうを利用したりしております。以上です。

◎吉岡勝裕委員長

辻委員。

○辻孝記委員

分かりました、ありがとうございます。ということは、年度で決めて、それ以上は基本的にはないと、当初の部分でしか考えていないということですね。分かりました。そうすると、また新年度のときにはまた希望を募ってやられるというふうに理解しておきます。ありがとうございます。

あと、不登校対策とインクルーシブスポーツの関係なんですが、インクルーシブスポーツ、すごくいいと思っておるんですが、誰もが参加できるという意味で、不登校の子供も含めてですが、こういった方々とつながりを持てるような体制というのはつくられておるのでしょうか。

◎吉岡勝裕委員長

スポーツ課長。

●東浦スポーツ課長

すみません、今の現状で行きますと、インクルーシブスポーツ、重点事業として今年度から本格的に始めておるところですので、まだそこまでには至っていない状況でございます。

◎吉岡勝裕委員長

辻委員。

○辻孝記委員

できれば、インクルーシブというのは誰もが参加できるということですので、そういった子供たちも参加できるような形もやっていくと、ちょっと変わってくるのかなというふうに思います。教育委員会全体になるか分かりませんが、インクルーシブ教育というのが基本になっているかというふうに思いますので、その辺も踏まえた取組を考えていただきたいというふうに思いますので、よろしく申し上げます。以上です。

◎吉岡勝裕委員長

他に発言はありませんか。

中村委員。

○中村功員

保健福祉拠点施設整備事業についてお伺いしたいと思うんですが、現在工事発注をされておるかと思うんですが、通りかかってもまだ依然として全然進んでいないような、見た目に、発注してから間もないということかも分かりませんが、工事の進捗というのはどのようなものでしょうか。

◎吉岡勝裕委員長

健康福祉部次長。

●辻村健康福祉部次長

内装工事の実施状況でございますが、私も先週末にちょっと確認をさせていただきまして、現在取り付ける壁等の骨組み等が設置されておりまして、順次整備が進んでおる状況でございます。以上でございます。

◎吉岡勝裕委員長

中村委員。

○中村功員

そうすると、順調よくというか、この春に完成するというところで、遅れているという状況はないということで理解してよろしいでしょうか。

◎吉岡勝裕委員長

健康福祉部次長。

●辻村健康福祉部次長

現在この点に関しまして、遅れているという報告は受けておりません。以上でございます。

◎吉岡勝裕委員長

中村委員。

○中村功員

ありがとうございます。この事業については結構です。そうですね、結構です。ありがとうございます。

◎吉岡勝裕委員長

他に御発言はありませんか。

御発言もないようですので、説明に対しての質問を終わります。

続いて、委員間の自由討議を行います。御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎吉岡勝裕委員長

御発言もないようですので、自由討議を終わります。

本件につきましては、今回の審査をもって調査を終了することということで御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎吉岡勝裕委員長

御異議なしと認めます。本件については調査を終了いたします。

説明員交代のため、暫時休憩いたします。

休憩 午前10時30分

再開 午前10時31分

◎吉岡勝裕委員長

休憩前に引き続き、会議を開きます。

【伊勢市病院事業に関する事項】

〔令和4年度経営状況について〕

◎吉岡勝裕委員長

次に、「伊勢市病院事業に関する事項」についての御審査を願います。

「令和4年度経営状況について」当局から説明をお願いいたします。

経営企画課副参事。

●西井経営企画課副参事

それでは、「令和4年度経営状況について」御説明申し上げます。

資料2を御覧ください。令和4年4月から9月までの患者数、収入、支出及び収支の状況でございます。様式につきましては、数値が入っております左側から、令和4年度実績、令和4年度当初予算、実績と当初予算との比較、一番右側が前年度との比較となっており、また、「1 利用状況」の患者数につきましては、上段が述べ患者数、下段が一日平均患者数となっております。

始めに、「1 利用状況」でございますが、入院及び外来患者数の状況となっております。まず、入院患者数でございますが、令和4年度実績では一日平均216.6人となり、予算に対して8.9人、前年度に対して4.6人それぞれ減少しております。なお、本年8月の教育民生委員会で報告いたしました6月末実績では、一日平均206.5人となっておりますが、7月から9月までの3か月間の実績では、一日平均226.7人となり、20人程度増加し

ております。次に、外来患者数でございますが、令和4年度実績では一日平均521人となり、予算に対して16人、前年度に対して2.5人それぞれ増加しております。また、令和4年度当初予算の患者数につきましては、新型コロナウイルス感染症対策としての病床確保を4月から6月までの3か月間と想定しており、この間は一日平均入院患者数216人、一日平均外来患者数500人とし、病床確保終了後は段階的に患者数を引き上げ、10月以降財政収支計画と同程度の患者数を予定し、年間で一日平均入院患者数239人、一日平均外来患者数512人としておりますので、9月末時点では資料に記載のと通りの患者数としております。

しかしながら、感染状況は収まらず、現在も病床確保の取組を継続しており、この点におきましては、9月末の患者数は、病床確保中の予定量としております一日平均患者数216人、一日平均外来患者数500人に対しまして同程度となっております。下の表の入院患者数内訳につきましては、病床ごとの入院患者数でございます。

次に、「2 収入」の状況でございます。まず医業収益でございますが、予算と比較いたしますと、1億2,600万円増加しております。主なものといたしまして、入院収益では、入院患者数は減少したものの、診療単価の上昇により1億2,400万円の増加、一方、外来収益では、外来患者数は増加したものの診療単価の減により200万円減少しております。次に、検診収益及び医業外収益でございますが、おおむね予算どおりとなっております。収益全体では1億4,900万円増加しております。なお、医業外収益につきましては、前年度と比較いたしますと、1億2,800万円減少しておりますが、一般会計からの繰入金収入の収入時期が異なったためでございます。

次に、2ページをお願いいたします。「3 支出」の状況でございますが、医業費用では、予算と比較いたしますと600万円増加しておりますが、主なものといたしまして、材料費、光熱費でございます。

次に、「4 収支」の状況でございますが、医業収支で1億2,000万円、検診収支で700万円、全体収支で1億3,900万円それぞれ予算に対し改善しております。

次に、表外に記載の新型コロナウイルス感染症対策に係る確保病床数につきましては、令和4年11月2日現在の確保病床数を記載しておりますが、11月16日時点では、確保病床数が23床、当院に入院中の新型コロナウイルスに感染された方は8名となっております。今後におきましても、新型コロナウイルス感染症の影響により大変厳しい病院経営となることが予測されますが、引き続き感染症への対応と通常医療との両立を図ってまいります。

以上、「令和4年度経営状況について」御説明申し上げます。よろしく御協議賜りますようお願い申し上げます。

◎吉岡勝裕委員長

ただいまの説明に対しまして、御発言はありませんか。

中村委員。

○中村功員

1点聞かせていただきたいと思うんですが、入院患者数のところで、ホスピス病床が前年度比で増になっておるわけですが、コロナ禍でほかの病床が減っているにもかかわらず

ずそのような現象が起こっているということをどのような分析というのか、どのように感じておられるのか、ちょっとお聞かせ願えますか。

◎吉岡勝裕委員長

医療事務課長。

●南平医療事務課長

ホスピス病床におきましては、委員仰せのとおり、患者数としては伸びておる状況でございます。状況といたしましては、院内からの患者さんの転棟でありましたり、外から入ってくる患者さんのほうがおりますけれども、いずれにいたしましても、担当の社会福祉士でありましたり医師のほうきめ細かに対応させていただいて御説明させていただいた上で入っておりますので、そのあたりの効果が出ておるのではないかというふうに分析はさせていただいております。以上でございます。

◎吉岡勝裕委員長

中村委員。

○中村功員

結果としてはそうなんでしょうけれども、なかなか、前にも申し上げたかも分かりませんが、どちらかという、伊勢病院の売りの部分で僕はあるかと思うんです。そやで、これまでもPRしろとか、してほしいとか、そういうようなことを申し上げてきて、その部分が非常に浸透してきたのかなというように、僕はいいように解釈して、コロナ禍で、ホスピスの安らかにというのかそういうような部分を求めてきた、社会情勢がそのようになってきたのか、ちょっとその辺をお聞きしたかったんですが、努力はされておるといのはよく分かるんですが、その辺もう一度お願いしたいなと思います。

◎吉岡勝裕委員長

医療事務課長。

●南平医療事務課長

おっしゃるとおり、コロナ以前は、オープンホスピスを開いたり講演会を開いたりというのをしておったんですけれども、コロナ禍になりまして、その辺は今できていない状況ではございますけれども、先ほど述べました社会福祉士であったりほかの病院であったり施設であったりというところで、こういうホスピスがあるというところをきめ細やかに一つ一つお話をさせていただいて、もしそういう対象とか興味がある患者さんがありましたらというところで御説明をさせていただいておるところでございます。そういう一つ一つの努力がこの数字になって表れておるのかなというふうには感じておるところでございます。以上でございます。

◎吉岡勝裕委員長
中村委員。

○中村功員

今後もそういうように、広報活動も含めて、よりよい医療を目指していただきたいと思います。ありがとうございました。

◎吉岡勝裕委員長
他に御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎吉岡勝裕委員長

御発言もないようですので、説明に対しての質問を終わります。
続いて、委員間の自由討議を行います。御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎吉岡勝裕委員長

御発言もないようですので、自由討議を終わります。

以上で、「令和4年度経営状況について」を終わります。

「伊勢市病院事業に関する事項」につきましては、引き続き調査を継続していくということで御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎吉岡勝裕委員長

御異議なしと認めます。本件については引き続き調査を継続いたします。

【伊勢市立小中学校の規模配置の適正化に関する事項】

〔小中学校適正規模化・適正配置推進事業（進捗状況）について〕

◎吉岡勝裕委員長

次に、「伊勢市立小中学校の規模配置の適正化に関する事項」についての御審査を願います。

「小中学校適正規模化・適正配置推進事業（進捗状況）について」当局から説明をお願いします。

学校統合推進室長。

●丸山学校統合推進室長

それでは、伊勢市立小中学校適正規模化・適正配置推進事業につきまして、進捗状況を御報告申し上げます。本日は、二見浦小学校、二見中学校移転に係りますスケジュール建設用地の現況及び通学路の交通安全対策について、御報告申し上げます。

まず、資料1ページを御覧ください。スケジュールは記載のとおり、予定どおり進めておりまして、前回報告からの変更はございません。

次に、資料2ページをお願いいたします。建設用地の状況でございますが、前回報告ま

でありましたシートも外されまして、建物の外観もよく見えるようになってまいりました。現在、内外装の仕上げ工事、外構工事及びグラウンド整備工事を行っております。工事はおおむね計画どおり進んでおりまして、進捗率としましては、10月末現在で、校舎が約86%、体育館が約96%となっております。

次に、移転後の通学路における交通安全対策について、御報告申し上げます。通学路の交通安全対策につきましては、保護者や地域の方々の御意見を基に、通学路交通安全プログラムにおいて協議・検討を行い、必要な整備を行っているところでございます。資料の3ページは、その施工箇所等を位置図で示しておりまして、4ページはそれぞれの詳細を記した一覧表となっております。

それでは、3ページを御覧ください。現在予定をしております対策箇所は、整備済みを含めまして17か所でございます。位置図に番号を付してある場所がおおむねその対策箇所でございます。また、番号やその対策内容が記載してある枠内を色分けしておりますが、これは、資料の真ん中上に記載のとおり事業主体別で分けております。

それでは、主な整備内容につきまして、御説明をいたします。まず、資料の左下、新校舎の横にある①、こちらは信号機及び横断歩道の新規設置で、令和5年2月の完了予定でございます。次に、①の上にある②でございますが、こちらは、市道溝口17号線の歩道と車道の間へのガードパイプの設置や路面標示等でございます。こちらは、写真にもございますとおり現在施工中でございます。令和5年2月の完了予定でございます。次に、資料の中央左側にある③から中央の⑬及び右端にある⑰につきましては、交差点などへのボラードやラバーポールの設置及び区画線や路面標示などで年度内に完了を予定しております。残る⑭の旧二見トンネルの照明の増設と⑮、⑯の整備につきましては、既に完了いたしております。

以上が、令和5年4月の移転までに予定をしている対策でございますが、移転後実際に子供たちが通学してみないと分からない箇所もあると思いますので、今後も必要に応じ、通学路の交通安全対策に努めてまいりたいと考えております。

説明は以上でございます。よろしく願いいたします。

◎吉岡勝裕委員長

ただいまの説明に対しまして、御発言はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎吉岡勝裕委員長

御発言もないようですので、説明に対しての質問を終わります。

続いて、委員間の自由討議を行います。御発言はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎吉岡勝裕委員長

御発言もないようですので、自由討議を終わります。

以上で、「小中学校適正規模化・適正配置推進事業(進捗状況)について」を終わります。

「伊勢市立小中学校の規模配置の適正化に関する事項」につきましては、引き続き調査を継続していくということで御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎吉岡勝裕委員長

御異議なしと認めます。本件につきましては、引き続き調査を継続いたします。
ここで、説明員交代のため暫時休憩します。

休憩 午前10時44分

再開 午前10時46分

◎吉岡勝裕委員長

休憩前に引き続き、会議を開きます。

【保健福祉拠点施設の整備に関する事項】 【子ども子育て支援に関する事項】

〔保健福祉拠点施設の整備及び同施設における子ども子育て支援について〕

◎吉岡勝裕委員長

次に、「保健福祉拠点施設の整備に関する事項」及び「子ども子育て支援に関する事項」についての御審査を願います。

「保健福祉拠点施設の整備及び同施設における子ども子育て支援について」当局から説明をお願いします。

健康福祉部次長。

●辻村健康福祉部次長

それでは、「保健福祉拠点施設の整備及び同施設における子ども子育て支援」につきまして、御説明をいたします。

資料4-1を御高覧願います。伊勢市駅前保健福祉拠点施設につきましては、内装工事に着手し、令和5年3月の完成に向けて現在整備を進めているところでございます。

まず、「1 総合相談支援体制」でございますが、相談支援強化の一環といたしまして、障がいのある方の相談支援を行います基幹相談支援センターを7階に整備することといたします。なお、同センターは、指定管理により整備してまいりたいと考えております。また、孤独・孤立からの立ち直りや防止のため、行政、民間団体等多機関共同による支援体制を整備し、社会全体が相互に支え合い、人と人とのつながりが生まれる社会を目指し、取組を進めてまいります。

次に、「2 子ども子育て支援」でございます。現在本庁のこども家庭相談センターと福祉健康センター内のママ☆ほっとテラスが連携し、全ての妊産婦、子育て世帯、子供への一体的な相談支援を行っておりますが、これらを保健福祉拠点施設内に配置することで、切れ目のない包括的な支援体制を強化してまいります。国においては、児童福祉法等が改正され、今後全ての市町村に同様の取組を進めることが求められることとなります。子育て支援センターについては、現在専門業者による親子交流ひろばの整備を進めております。なお、本施設は、親子の交流の場としての機能のほか、利用者支援や子育て相談など、市内の中核的な施設として整備してまいります。

資料4-2に、交流ひろばの整備のイメージ図を添付しておりますので、御高覧願います。この保健福祉拠点施設の整備に伴いまして、中央保健センター、子育て支援センター、一時保育及び基幹相談支援センターの設置に関する条例案を12月市議会定例会に提出したいと考えております。

なお、保健福祉拠点施設における子ども子育て支援の取組につきましては、企業版ふるさと納税制度の活用も視野に入れながら進めてまいりたいと考えております。

説明は以上でございます。よろしくお願いたします。

◎吉岡勝裕委員長

お手元のほうに、企業版ふるさと納税の資料を追加で配付させていただきましたので、よろしくお願いたします。

ただいまの説明に対しまして、御発言はありませんか。

久保委員。

○久保真委員

よろしくお願いたします。今説明いただきましたこの福祉拠点施設の件なんですけれども、先ほど進捗状況の中でもいろいろお話をいただきましたので、別のところからちょっとお話を聞かせていただきたいと思っております。プロポーザルということでこの事業の企画提案をなされたと思うんですけれども、これは何件ほどあったんですか、ちょっとそれだけまず教えていただけますか。

◎吉岡勝裕委員長

保育課長。

●堀川保育課長

応募いただいた事業者は、3件ございました。以上でございます。

◎吉岡勝裕委員長

久保委員。

○久保真委員

ありがとうございます。このイメージ図を見せていただいても、何か私が見てもワクワクするような遊具等々いろいろ書いてもらってあるので、これをやはり開かれた施設ということで、市民の方にどのように啓発して進めていくのかということと、事前に、オープン前に何か見学会等々を計画されておるのか、その辺をお聞かせいただけますか。

◎吉岡勝裕委員長

保育課長。

●堀川保育課長

周知方法につきましては、伊勢市のホームページ等を活用しまして、あと、またLINEとかもございますので、そういったところでも活用して広く周知のほうをしてまいりたいと思っております。それから、オープン前のところにつきましては、現在検討しておりますので、また決まり次第御報告させていただきたいと思っております。

◎吉岡勝裕委員長

久保委員。

○久保真委員

よろしく申し上げます。ありがとうございます。結構です。

◎吉岡勝裕委員長

他に御発言はありませんか。

楠木委員。

○楠木宏彦委員

切れ目のない包括的支援体制というふうなことで体制をつくっていただくわけですが、子どもが育っていく上で、それぞれ様々なステージ、それぞれのステージに固有の問題があるんだと思うんですよね。まず、これ妊娠から出産、育児の時期は、母子の保健の問題から始まって、子供の、赤ちゃんの身体的な発育が気になるとか、あるいはちゃんとミルクを飲んでいるのかとか、そんなようなことも含めて問題になってくるだろうし、また、もう少し大きくなって幼児の段階になりますと、やっぱり発達について問題があるんじゃないかなと、そういう不安があったりする方もいらっしゃるからそういった面での相談だとか、あるいは家庭内での子育てをめぐるトラブルだとか、夫婦の関係、あるいはおじいちゃん、おばあちゃんとの関係とか、そういったことでいろいろな問題が出てくる可能性がありますけれども、そういったステージにおける相談とか、それから、さらにもう少し大きくなると、いわゆる少年期から思春期にかけて、子供の発達、育ちについてのいろいろなトラブルが起こってくるわけですが、このような全てのステージにわたって切れ目のない包括的支援体制というふうにご考えてよろしいのでしょうか。

◎吉岡勝裕委員長

健康福祉部次長。

●辻村健康福祉部次長

委員仰せのとおり、妊産婦の頃から高齢に至るまで、それぞれ様々な課題を発生するといったことも想定しながら、全体として、そういった各ライフステージに応じた相談に応じてまいりたいというふうにご考えております。以上でございます。

◎吉岡勝裕委員長

楠木委員。

○楠木宏彦委員

つまり今私が子ども子育て支援のところで質問したんだけど、それ以外にも、全体として高齢の時期まで含めて、全てのライフステージで支援をしていただくということだと思いますけれども、そのときに、特に今育児、子育てという面で、それぞれの段階でのいろんな悩み、心配ごと、トラブル、こういったものの相談に来るわけですが、こういったことに対しては、対応するにはかなり高度な、専門的な力量が要るんだと思うんですよね。医師あるいは精神科医あるいは臨床心理士、そういった子供の状態を的確に判断できるような専門家が要るんだと思うんですけれども、そんなときに、この拠点で診断とかアドバイスも含めて全て担うことができるのか、そこまで担っていくのか、それとも、ここで対応して、その後専門機関につなげていくのか、どちらのほうを特に機能としては考えていただいているのでしょうか。

◎吉岡勝裕委員長

健康福祉部参事。

●岩佐健康福祉部参事

発達の側面とかですと、こども発達支援室のほうで相談、対応とかさせていただきますが、診断となりますと、やはり駅前の中ではできませんので、それぞれの専門機関のほうにつないでいくという役割になってくるかと思われまます。また、相談という部分では、駅前の中のそれぞれの機関プラス、現在でもそうですが、教育現場というところで、教育委員会とも、教育研究者等とも連携を取らせていただいたりとかという中で相談支援に当たってまいりたいというふうに思っております。以上です。

◎吉岡勝裕委員長

楠木委員。

○楠木宏彦委員

これが本当に全ての切れ目のない包括的な支援体制という形に持っていくためには、かなり専門的な職員さんも必要になってくるんだと。もちろん医師まではどうなのか分かりませんが、そういう相談、対応ができるような専門職が要ると思うんですけれども、どこまで専門的な職員さんをここで雇えるのかということが大きな問題になってくると思うんですけれども、その点については、規模などについてはどの程度考えていただいているのでしょうか、専門職さんの。

◎吉岡勝裕委員長

健康福祉部参事。

●岩佐健康福祉部参事

各それぞれの機関の中で、臨床心理士も相談に当たっていただいておりますし、また精神科の医師のほうも月に何度か来ていただいている中では相談していただくという期間も設けてございます。現在の健康課、発達支援室、それからこども家庭相談センター等、それぞれの専門職が駅前の拠点のほうに集まってくるという形でございます。以上です。

◎吉岡勝裕委員長

楠木委員。

○楠木宏彦委員

特に、本当にこの問題は、かなり高度な、専門的な知識というか技量が要ると思いますので、本当に専門的な仕事ができるような方々を雇っていただいて、充実させていただきたいと思います。ありがとうございます。

◎吉岡勝裕委員長

他に御発言はありませんか。

中村委員。

○中村功員

子育て支援センターの交流ひろばのイメージ図を見せていただいてちょっと思ったんですが、このイメージ図やと、人数が大体適当な人数かなと、こう思うんですが、これ以上例えば増えるとか、人数制限、やっぱり屋内ですので、コロナ禍は仮に別として、人数制限なんかはどのようなお考えを持っているのでしょうか。

◎吉岡勝裕委員長

保育課長。

●堀川保育課長

こちらの交流ひろばにつきましては、設定されている遊具等の関係上、最大で40組80名の方が利用できるというような形になっております。ただ、この利用につきまして、現在コロナ禍ということもございますので、密にならないように受入れについては検討のほうをしてまいりたいというふうに考えております。

◎吉岡勝裕委員長

中村委員。

○中村功員

そうすると、多分僕は、こういうようなイメージ図が今後広報されると、やっぱり新しいものに皆寄っていくと思うんです。特に土日とか、そのときに、せっかく駐車場に置いて来たのに入れやんだとか、うれしい悲鳴というのか、そういうことになったらかえって

人気も落ちるのかなと、こう思うので、やはりその辺も、しっかりと時間制限も含めてどれぐらいなのかがちょっと気になるんですが、その辺は、時間制限も含めてもう一度聞かせていただきたいと思います。

◎吉岡勝裕委員長
保育課長。

●堀川保育課長

時間制限等も今検討しておるところなんですけれども、他の導入されている自治体の参考例を見せていただいた上で、今後設定していきたいというふうには考えております。

◎吉岡勝裕委員長
中村委員。

○中村功員

ありがとうございます。やっぱり子供を遊園地みたいなところへ、公園なんかへ連れて行って、飽きてくる時間というのも多分つかんでおられると思いますので、親御さんが十分に「また来たいな」というような、ちょっとぐらい待ってみるわと、こういうような感じの好感度の高い時間制限というのか人数というのか、それも使ってみてまた変わっていくんだろけれども、その辺間違いないように、最初、出だしが大事やと思いますので、ぜひその辺も十分に検討していただきたいなと思います。ありがとうございます。

◎吉岡勝裕委員長
他に御発言はありませんか。
辻委員。

○辻孝記委員

先ほど中村委員から話があったので、少し確認をさせてください。子供たちが使うということは当然親も来るということになりますが、駐車場の関係ですが、これ、ずっと遊んでいる中で、先ほど時間制限云々これから考えるという話なんです、朝から来て夕方までずっとおるという場合の駐車場とか、その辺はどんなふう処理されていくんでしょうか。

◎吉岡勝裕委員長
健康福祉部次長。

●辻村健康福祉部次長

駐車場の利用につきましては、ビルの管理者でありますM i r a I S Eとこれまでの協議を重ねてまいりまして、一日で最大800円ということで協議が整ってございます。この800円につきましては、市の施設利用者ということでございますので、市のほうが負担を

させていただくということで進めております。以上でございます。

◎吉岡勝裕委員長
辻委員。

○辻孝記委員

分かりました。そうすると、当初から言われている駐車場の限度まで使えるということ
でやっていけるということいいんですね。そうすると、子供たちを置いて、親御さんが、
片方の親がどこかその辺へ行ってしまうということも、別にそれは問題ないということに
なるんですか、これは。周辺に出かけるということはオーケーなんですか。

◎吉岡勝裕委員長
答えられますか、その辺は。
保育課長。

●堀川保育課長

子育て支援センターの交流ひろばにつきましては親子で利用させていただくこと
ですので、分かれて利用されるということはずないうふうには考えておるんですけれ
ども、ただ、一時保育室といったところは、お子さんを預けてというところもございま
すので、利用の範囲内というか、そういったところで可能な部分かと思えます。

◎吉岡勝裕委員長
辻委員。

○辻孝記委員

分かりました。あまり言うと、またいろんなことが起こるかもしれませんのでこれぐら
いにしますが、運用をしっかりやっていただいて、本当に来てよかったなと思える環境づ
くりをしていただきたいなというふうに思いますので、よろしく願います。結構です。

◎吉岡勝裕委員長
他に御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎吉岡勝裕委員長
御発言もないようですので、説明に対しての質問を終わります。
続いて、委員間の自由討議を行います。御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎吉岡勝裕委員長

御発言もないようですので、自由討議を終わります。
以上で、「保健福祉拠点施設の整備及び同施設における子ども子育て支援について」を
終わります。

「保健福祉拠点施設の整備に関する事項」及び「子ども子育て支援に関する事項」につきましては、引き続き調査を継続していくということで御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎吉岡勝裕委員長

御異議なしと認めます。本件については引き続き調査を継続いたします。

【新型コロナウイルス感染症対策に関する事項】

〔新型コロナワクチンの接種状況について〕

◎吉岡勝裕委員長

次に、「新型コロナウイルス感染症対策に関する事項」についての御審査を願います。

「新型コロナワクチンの接種状況について」当局から説明をお願いします。

健康課副参事。

●北村健康課副参事

それでは、新型コロナワクチンの接種状況につきまして、お手元の資料5に基づきまして御説明申し上げます。

資料5、「1 これまでの経緯」を御覧ください。新型コロナワクチンの接種につきましては、伊勢地区医師会や伊勢薬剤師会をはじめ、市内4病院及び市内各診療所の御協力の下、令和4年9月末に従来株ワクチンの接種を終了しました。10月よりオミクロン株対応ワクチンに切り替え、10月1日からは、4回目接種対象者で未接種の方や社会機能を維持するために必要な事業の従事者等を対象に接種を開始しました。10月15日からは、初回接種を終えた12歳以上の方で前回接種から5か月以上経過した方を対象に接種を進めました。また、10月21日には、前回接種からの接種間隔が5か月から3か月に短縮されたことに伴い、令和4年11月末までに接種対象となる方につきまして、10月22日から予約を開始しました。5歳以上11歳以下の方においては、3回目の接種が9月6日から可能となったため、9月23日から接種を実施しております。また、生後6か月以上4歳以下の乳幼児においては、10月24日から予防接種法上の特例臨時接種に位置づけられたため、11月5日から接種を実施しております。

次に、「2 接種率について」でございます。資料の表は、令和4年11月11日現在でございますが、3回目接種につきましては、全体が接種率70%、65歳以上の方が90.4%となっております。4回目接種につきましては、全体が42.6%、65歳以上が80.8%となっております。オミクロン株対応ワクチンについては、接種回数1万6,864回、接種率13.7%、うち65歳以上においては、接種回数5,825回、接種率14.6%となっております。直近の接種率につきましては、本日時点で、3回目接種全体が70.2%、65歳以上の方が90.7%、4回目接種につきましては、全体が44.3%、65歳以上の方が81.3%となっております。オミクロン株対応ワクチンにつきましては、接種回数2万7,636回、接種率22.4%、うち65歳以上につきましては、1万3,439回、接種率33.8%となっております。

次に、「3 今後の予定」でございます。これまでの2年間、年末年始に新型コロナウイルス感染症が流行していることから、年内に全ての接種希望者にオミクロン株対応ワク

チンの接種が完了できるよう引き続き接種を進めてまいります。今後も新型コロナワクチン接種を希望する全ての方が一日でも早く接種を終えることができるように、しっかりと取り組んでまいります。

以上、新型コロナワクチン接種状況について御報告申し上げます。よろしくお願いいたします。

◎吉岡勝裕委員長

ただいまの説明に対しまして、御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎吉岡勝裕委員長

御発言もないようですので、説明に対しての質問を終わります。

続いて、委員間の自由討議を行います。御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎吉岡勝裕委員長

御発言もないようですので、自由討議を終わります。

以上で、「新型コロナワクチンの接種状況について」を終わります。

「新型コロナウイルス感染症対策に関する事項」につきましては、引き続き調査を継続していくということで御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎吉岡勝裕委員長

御異議なしと認めます。本件につきましては引き続き調査を継続いたします。

以上で、本日御審査願います案件は終わりましたので、これをもちまして、教育民生委員会を終了いたします。

閉会 午前11時07分

上記署名する。

令和4年11月22日

委員長

委員

委員